

とっとり しほ おかやま ひろしま やまぐち
中国・四国
コープCSネット
（便り）

生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合会報

としま かがわ えひめ こうち

CO-OP 9生協の夢広がるネットワーク

非食品・味彩商品事業本部
第15回
重点商品
学習交流会

2013年8月8日(木)
おかやまコープオルガホール



第10回 仲間づくり研修会

2013年8月29日(木)～8月31日(土) 広島県広島市 広島サンプラザ



食品商品事業本部 2013年度

第2回 重点商品試食学習会

2013年9月16日(月) おかやまコープオルガホール



コープCSネット開発商品
新発売



CS フライパンで
さば胡麻みりん干し
2013年7月2回



CS 広島県産レモンが香る
塩焼ビーフン
2013年10月3回

CONTENTS

ページ

- ② 第15回
重点商品学習交流会
- ④ 第10回 仲間づくり研修会
- ⑤ 13年度 第2回重点商品試食学習会
品質保証・品質管理研修会
- ⑥ コープCSネット開発商品
人気ランキング・新発売情報
- ⑦ コープCSネットトピックス
- ⑧ 会員生協トピックス

コープCSネット 第15回 重点商品学習交流会を開催

日時：2013年8月8日(木) 10時20分～15時30分
会場：おかやまコープオルガホール

コープCSネット非食品・味彩商品事業本部が、会員生協に向けて開催している重点商品学習交流会も15回目を数えました。今回は、2013年度下期重点商品の供給達成に向けて、商品特長を学習し、取組みを行う上での実践交流をすることを目的としています。中国地区四国地区9会員生協より運営担当・広報担当などのオブザーバーも含め90名の参加があり、学習会は前半(各ブースでの商品説明)と後半(グループでの論議)の2部構成で行われました。

コープCSネット非食品・味彩商品事業本部青山本部長の開会挨拶の後、グループごとに各メーカーや取引先のブースに移動し、担当者から商品特長の説明を聞き、その場で質疑応答を行いました。



各ブースでの様子

今回学習した重点商品	学習会にご協力頂いたメーカー！取引先
羽毛布団	株式会社イトウ
スクワビューティ	双日コスメティックス株式会社
アスタシア	株式会社コーベヤ、ミズノ株式会社
エスジェ柿渋シリーズ	清水産業株式会社、ヤマトプロテック株式会社
プレスサーモ	株式会社イトウ
消火器	清水産業株式会社、ヤマトプロテック株式会社
薬用ソルテージⅡ	サンスター株式会社
ゴミブリキヤップ	株式会社あらた、タニサケ株式会社



昼食の後、優秀者表彰を行いました。代表して鳥取県生協 東部第2支所 森田裕士さんが表彰されました。



取り組み事例として、おかやまコープ 津高センター 出原次巴さんより、昨年のプレスサーモの取り組みについて発表がありました。

午後から各グループに分かれて、「学習会で得たこと、実行すること」が話し合われました。分散会の最後に、グループの代表がそれぞれ決意表明を行いました。



分散会では活発な意見交換が行われました

Aグループ..羽毛布団

生協しまね 大場さん

配達中は時間がないのでポイントを絞ることが大切です。成功させるための主な3点は、①支所内のマネジメント ②高額商品の訴求なので(担当者の)モチベーションをどのように高めるか ③配送中のアポイントメント取りです。アポイントメントを取った後は訴求ができる職員から商品説明をしたり、職場班へは学習会を開催したり、サンプルを貸し出ししたりすることで活動に結びつきます。その他「担当者ニュース」で良さ(「羽毛布団は餃子の皮に包まれている感じです」)を伝え、職員も使ってみて良さを実感してみるのが大切だと思います。生協の羽毛布団は自信をもってお勧めできる商品です。

Bグループ：羽毛布団

生協しまね 渡辺さん

会えない組合員さんも多いので、アンケートを活用し、「サンプルを使ってみませんか？」とお勧めしていきたいです。サンプルを使っていただくことで、肌触りが分かります。現場のモチベーションを上げるためには、進捗管理も大切です。各担当の取組み事例等を支所で交流していきま。競合店調査を行い、市場製品と何が違うのかを把握することも重要です。一部の人が調査を行うのではなく、全員がストコンを行い競合店の商品との違いを理解することが力になります。週ごとの目標を決め、進捗を行い、長期戦の間テンションを下げないようにしていきます。

Cグループ：スクワビューティ

生協ひろしま 生口さん

今回の「25%増量」という部分を強化します。赤ちゃんには「スクワランオイル」をお勧めし、赤ちゃんから年配の方まで、ご家族全員が幅広く使えるシリーズ商品であるため、商品の良さを組合員さんへ伝えます。具体的には、支所で取組み前週までに商品学習を行い、会えない組合員さんには二ユースを目立つ場所にセットし、トラックPOPはド派手に、会える組合員さんには持回りサンプルを手にして形状がジェルから美容水に変化するところを実感して頂きたいです。また、支所では担当者が持つて返ったボトルの残量から、「がんばったね」と声をかけ、モチベーションを保ち、雰囲気作りをしていきます。

Dグループ：スクワビューティ

生協しまね 清水さん

「職員が使って、実感してからすすめる」ようにします。断られても原点に戻り、「スクワランオイル」はスキントラブルがほほえない商品であることを組合員さんに伝えます。良い事例は共有化し、下期キャンペーンの全商品をお勧めします。「柿渋石けん」で体を洗い、スクワビューティシリーズフリーアで朝のスキンケア、ソルテージIIで歯を磨き、アスタシアで夜のスキンケア、ブレスサーモを着て寝る。おうちには、ゴキブリキャップと消火器で、ゴキブリにも火事にも安心！

Eグループ：ブレスサーモ

おかやまコープ 鎌田さん

10月～2月の取組みですが、スタートダッシュを成功させます。体感実感を大切にし、「お試しソックス」をまずお知らせしていきます。キャンペーン中は、低価格の「エブリ」に偏らず「ミドルウエイト」なども薦めます。特に「タイツ」のお勧めを強化し、ブレスサーモの良さを伝えていきたいです。人間は足から冷えるので、「タイツ」はより良さが伝わる商品です。

Fグループ：ブレスサーモ

コープやまぐち 山本さん

配達中には原綿を使ってお知らせを行います。組合員の中には実験には飽きたという方もいるので、未体験の方を対象に原綿実験をしたいです。また、3タイプの生地の違いを理解し、やわらかストレッチ、エブリを基本にしっかり組合員さんへお知らせします。ブレスサーモは、1千万点突破の実績がある商品であること、スポーツメーカーのミズノが製造していることなどを、自信を

持って伝えていきます。シリーズの中には組合員さんの暮らしにあった商品がある筈なので、組合員さんがどのような暮らしをしているのかを見て、その人にあったブレスサーモを薦めます

Gグループ：消化器

生協しまね 田中さん

組合員さんにとって火災は身近な問題であり、消火器の買い替え時期のお知らせをするなど、売りっぱなしにしないというところが生協らしい商品です。年に1回の取り組みであり、「防災・暮らしを火災から守る」をキーワードにどのように訴求するかロールプレイングを行い、なぜ取り組むのかを落としこんでいきます。年配の方には6型は重すぎるので3型をお勧めしたり、本場に1本のお勧めでよいのかを考えたり、ご家庭内での点検の案内をしていきます。

Hグループ：ソルテージII

生協ひろしま 渡辺さん

本日の学習会で、これまでお勧めしていても、商品について知らないこともありました。キャンペーンまでには時間があるので、内部でしっかり学習し、サンプルを使用し、実際の「使用感」をしっかりとキャンペンでは伝えていきます。訴求にはアンケートも活用し、アンケートで集めた組合員さんの声を伝えます。「使ったことのある人の声」を、どれだけ「使ったことのない人」に伝えられるかが大切だと思います。

Iグループ：柿渋シリーズ

おかやまコープ 大野さん

キーワードは「体臭」。どういった商品でどういう風に使えるかを考え、「実感したこと」を伝えます。一番人気のボディソープは、2回プッシュで約78回、1人だつたら2ヶ月間使える商品です。薬用なので、他の柿渋ボディソープと比較しても消臭効果が高いという特長があります。3月1回までに職員が試供品を使い、職員全員が良さを伝えられるようにします。酢の臭いが消える実験を配達現場でできないか検討してみたいです。お勧めポイントは大きく3つ。①臭いを落とす(消臭・薬用)②柿タンニンを抽出している③家族全員で使える(背中のにぎび予防など)

Jグループ：ゴキブリキャップ

鳥取県生協 嶋田さんと、こうち生協 弘田さんによるお勧めの実践ロールプレイングが行われました。

「ゴキブリは目が見えないので、触角で動いています。」

「ゴキブリキャップはスミに置くのが効果的ですよ」などの実践的なトーク例もあり、参加者から好評でした。



第10回 仲間づくり研修会開催

日時／2013年8月29日(木)～8月31日(土) 会場／広島県広島市 広島サンプラザ

2013年8月29日(木)～8月31日(土) 2泊3日の日程で、広島県広島市(広島サンプラザ)において「コープCSネット第10回仲間づくり研修会」が開催しました。

中国地区四国地区6会員生協(鳥取県生協・生協しまね・おかもまコープ・生協ひろしま・コープやまぐち・コープかがわ)より29名の参加がありました。2日間で、1,056軒のお宅を訪問し、グループワークで作成したトーク(会話のきっかけをつくる「基本トーク」「対応トーク」と商品をおすすめする「商品トーク」)を実践しました。2008年2月に鳥取県で開催して以来、10回目を向かえ、会員生協からの参加者は累計338名になりました。グループワークの進行役を担っていただく運営リーダーは累計43名となりました。

仲間づくり活動は、生協活動のすべての基礎となるもので、地域の方々に生協を知っていただき、ご加入いただく活動です。仲間づくりは、生協職員が消費者のお宅を訪問し、生協について説明、加入いただくことを主たる業務としています。個人の業務活動になることが多く、消費者への対応や説明内容にマニュアルはあるものの自己流になりがちです。研修会では、仲間づくり活動をグループワークとお宅訪問(フィールドワーク)を通して、日常の活動を振り返り「自分に足りないもの」を見つめ直し、仲間づくり活動の重要性を確認します。また運営リーダーは、グループを運営するマネジメントを実践する場でもあります。生協で働いている私達すべてが知っておかなければならない活動でもあります。

これまでは、日本生協連合会支援本部から応援をいただきましたが、第9回仲間づくり研修会(山口県宇部市)より、開催県から運営リーダーを経験いただいた方の中から推薦いただき、総合司会(全体の進行・アドバイザー)を担っていただいています。今回は生協ひろしま 端野雅之様に担っていただきました。研修生の皆様には、この研修をより身近に感じていただけたのではないかと思います。

今回、初めてフィールドワークをペアで行いました。ペアで動くことで「自分に置き換えて、見ることで見習っていききたい事が多くあった。」「自分自身では感じていなかった事を指摘いただき、それが大きな気付きに繋がった。」「ちよっとした言葉のなげかけや言い直しなど、まじかに見ることで、大変参考になった。」とのご意見をいただき、参加者から好評を得ました。



総合司会
生協ひろしま 端野様



フィールドワーク前のグループワークの様子。仲間づくりに向けた活発な意見が交わされています。



これからフィールドワークに出発します。

●訪問数／1,056 ●会話数／265 ●対話数／64 ●加入／8 ●再訪問／28

	研修生	訪問数	会話数	対話数	加入	再訪問	在宅率	商品トーク率	HIT率	加入率
第10回広島	23	1056	265	64	8	28	25.00%	24.10%	10.50%	3.02%

研修会終了後 事後レポートより 研修生の代表的な意見

- ①グループでの活動はとても良かった。
- ②他生協の方々と交流ができて、連帯感もうまれ頑張ろうと言う気持ちになった。
- ③会員生協によって仲間づくりの体制も役割も大きく異なっており、目標の持ち方も異なっている。
- ④参加者の経験年数や職位職階も異なっているが、生協という組織で働いている意味を自覚することができた。
- ⑤改めて、自分の仕事を書き出した事で、振り返りができた。
- ⑥気づきから、スキルアップの必要性を強く感じ取った。
- ⑦仲間づくりの中心はやはり商品であり、一般的な商品知識ではなく、生活シーンからの商品知識が必要と強く感じた。
- ⑧その方の暮らしぶりから商品のおすすめをし、生協ファンになっていただくことを目指す。
- ⑨自分自身の事例をしっかりと見ていただくことで、いろんなヒントをいただいた。
- ⑩生協ひろしまの準備に感銘を受けた。改めて準備の必要性を実感した。
- ⑪研修に参加し、改めて自分を見直す機会になった。
- ⑫簡潔にわかりやすく、お伝えすることの難しさを改めて認識した。
- ⑬営業ミーティングの商品学習おすすめ方の変更と現場アポについて流れを変更することを提案します。
- ⑭相手に興味をもつこと・敬意を持つことの重要性を肌で感じた。
- ⑮研修のスタイルをグループで決めて、実際にフィールドに出て実践し、それをグループで検証し、またフィールドで 試し、グループで検証を加えることで、より問題点が浮き彫りになった。
- ⑯相手の方のお話を引き出すことの重要性とそのため自分の引き出しを多く持っておくこと、それは人間性や人柄 を磨くことに繋がっていることを強く感じた。
- ⑰アンテナを常に上げ、情報収集することの大切さを感じることができた。
- ⑱商品を利用継続していただける視点で、仲間づくり活動を組み立てていくことの重要性を学びました。
- ⑲今回学んだことを部下に分りやすく伝えていきたい。
- ⑳この研修会は、マネジメントを学ぶ実践の場と強く感じた。

今後の研修会について多くの御意見をいただきました。

- ①参加されている会員生協の仲間づくりの事例を、ツールも使いながら皆の前でロールプレイ形式で聞きたい。
- ②利用人数アップ・利用継続の取り組みについての研修を希望する。
- ③スキルアップに特化した研修を希望する。
- ④答えがあつてないような研修ですが、自分の行動・思いを振り返る大変よい機会でした。スキルアップ研修とは切り離して継続してほしい。

次回、2014年度は鳥取県または香川県での開催を予定しています。参加者からのレポートを踏まえ、より進化する研修会になるよう務めていきます。今回生協ひろしまの皆様には、事前の準備から当日の運営にいたるまで、大変お世話になりました。改めて、お礼申し上げます。(コープCSネット事務局)



フィールドワークから戻ると、訪問先でのやり取りを推敲します。



実践報告



生協ひろしまからの
実践報告
発表者は松井様

13年度第2回重点商品試食学習会を開催

2013年9月16日(月) 10:00~16:00 会場：おかやまコープ オルガホール

食品商品事業本部主催の「重点商品試食学習会」は年二回開催しています。今回の「重点商品試食学習会」は、表紙重点商品、クリスマス・年末・迎春予約商品などの商品特長を理解し、組合員さんへお勧めし、中国地区5会員生協全体で過去最高の支持を得ることを目的としています。当日は、中国地区5会員生協より80名、取引先様23社44名、コープCSネット職員35名、合計159名の参加で開催しました。コープCSネット 小泉専務理事の開会の挨拶の後、会員生協単位で試食学習会場に移動し、担当バイヤーやメーカー担当者から商品特長の説明や企画の意図を聞き、試食を行いました。午後からは交流を行いました。

前半の試食学習会では、商品の試食だけに終わらず商品特長や企画の狙いなどの理解が進むように、コープCSネット食品事業本部のバイヤーやメーカー担当者の説明を小グループで聞き試食ができる時間を各ブース40分間(4ブース合計2時間40分の学習時間)設けました。参加者が自らの言葉で組合員さんへご案内ができる知識や、味を具体的に伝えられる表現を獲得し、帰協後の配現場でリーダー役を務めることができるようにプログラムを組んでいます。

後半の交流テーマは「おせち」。お正月には欠かすことのできない伝統料理であることは勿論ですが、現在ではおせち料理を全てご自分で作る組合員は少なくなってきました。生協でも重点的にお勧めする迎春商品のひとつです。60分間のグループ交流では、成功事例だけでなく失敗事例も話すことにより、組合員さんにお勧めをしていく中で出てくる「悩み」の部分も共有化し、打開に向けた意見も出し合いました。

グループ交流の後、代表して生協ひろしま立原さんとおかやまコープ 中村さんから、交流した具体的な内容や「昨年よりも多くの組合員さんに生協のおせちの良さを知ってもらおう!」などの決意表明がありました。

最後に、コープやまぐち 宅配・共済事業部 河野様より閉会の挨拶を頂き、重点商品試食学習会は参加者の強い決意表明の中、終了しました。



前半の学習の様子。少人数で、商品特長を学習した後、試食を行います。活発に質問が繰り返されています。



後半の交流の様子。テーマは、「おせち」です。



おかやまコープ
中村さん



生協ひろしま
立原さん

2013年度 コープCSネット・虹の会共催 PB開発商品 品質保証・品質管理研修会を開催

2013年9月19日(木) 会場：広島市東区民文化センターホール

この研修会は、PB商品(CS開発商品、中国地区5会員生協PB)及び産直品の取引先様(主に、品質管理責任者や営業担当)を対象とし、過去の研修会に参加された取引先様からは好評を博しています。今回の研修会は、具体的な害虫駆除方法や異物混入対策の学習と、生協組合員だけでなく一般消費者にも関心の高い食品中の放射性物質の講演という、2つの大きなテーマを軸に研修会を進めました。当日は、対象取引先様148社218名の参加がありました。

コープCSネット 小泉専務理事の開会の挨拶の後、広島県農業株式会社 手塚様より「害虫の生態と駆除事例について」をテーマにご講演を頂きました。害虫などの異物混入の要因を分析し、駆除方法を具体的な事例を通して紹介しており、取引先様からは、「害虫の生態を理解した上で対応策を構築することは有効性が高いと感じた」「こういう内容の研修は増やしてほしい」などの感想が寄せられました。もうひとつは、広島市衛生研究所 岩崎様より「放射能の規制と食品中の放射性物質」というテーマでご講演を頂きました。身の回りにおける自然に存在する放射性物質、医療現場でのレントゲン撮影や福島第一原発事故などをはじめとする人工的な被ばくの問題、しきい値の考え方、食品衛生法に基づく食品中放射性物質の規制などを分りやすく解説いただき、取引先様からは、「日本の基準が世界の中でいかに厳しいものなのか分かった」「震災があつて一番気がかりなことなので、理解できてよかつた」「関心の高いテーマだったが、なかなか自分で学べる内容でもなかつた為、今回の研修で詳細を講演いただき、非常に勉強になった」などの感想が寄せられました。

講演の後、コープCSネット食品商品事業本部 濱田担当部長より「食品添加物基準の改定」について、品質保証部 中神担当係長より「工場点検・原料点検の実施要綱」をはじめとする報告・連絡事項がありました。最後に、食品商品事業本部 白髭本部長より、研修会参加のお礼の挨拶があり、研修会は終了しました。



広島県農業株式会社 手塚様
「害虫の生態と駆除事例について」の講演の様子

2013年度上期CS開発商品人気ランキング

コープCSネット開発商品は、コープCSネットで規定している開発手順に沿って、組合員モニター、コープCSネット職員、会員生協職員などによる試食評価のプロセスを経て開発しています。2005年10月に、コープCSネット開発商品第1号「CO大山ヨーグルト」がデビューしてから、中国四国地区の多くの組合員さんへ親しまれてきました。今回は、2013年度上期(2013年4月1回～9月4回)の人気ランキングを紹介します。

2013年度(4月1回～9月4回)人気ランキング

	商品名	規格	開発商品区分
総受注点数	① CS 大山ヨーグルト	80g×6	CSネット独自 とっとり育ち
	② CS 北海道産大豆の小粒納豆	45g×3	CSネット独自
	③ CS 淡塩さば	300g(3枚)	CSネット独自
	④ CS 充てんとうふ 3P	150g×3	CSネット独自
	⑤ CS 沖縄産味付糸もずく	60g×4	CSネット独自
	⑥ CS 恩納村産味付太もずく	60g×4	CSネット独自
	⑦ CS 岩国れんこん入りとうふハンバーグ	240g	CSネット独自 大好きやまぐち
総受注金額	① CS 淡塩さば	300g(3枚)	CSネット独自
	② CS 大山ヨーグルト	80g×6	CSネット独自 とっとり育ち
	③ CS 岩国れんこん入りとうふハンバーグ	240g	CSネット独自 大好きやまぐち
	④ CS 北海道産大豆の小粒納豆	45g×3	CSネット独自
	⑤ CS 沖縄産味付糸もずく	60g×4	CSネット独自
	⑥ CS 恩納村産味付太もずく	60g×4	CSネット独自
	⑦ CS 肉しゅうまい	700g(50個)	CSネット独自
1企画当たりの受注点数	① CS 五目炒飯 焼豚入り	250g	CSネット独自 しまね発
	② CS 大山ヨーグルト	80g×6	CSネット独自 とっとり育ち
	③ CS 朝日米を使ったエビピラフ	250g	CSネット独自 おかやま育ち
	④ CS しまね発 ビビンバ炒飯	250g	CSネット独自 しまね発
	⑤ CS 北海道産大豆の小粒納豆	45g×3	CSネット独自
	⑥ CS 淡塩さば	300g(3枚)	CSネット独自
	⑦ CS 岩国れんこん入りとうふハンバーグ	240g	CSネット独自 大好きやまぐち
1企画当たりの受注金額	① CS 淡塩さば	300g(3枚)	CSネット独自
	② CS 岩国れんこん入りとうふハンバーグ	240g	CSネット独自 大好きやまぐち
	③ CS ジャンボエビフライ 2個組	150g(5尾)×2	CSネット独自
	④ CS 淡塩さば切身(徳用)	440g(8切)	CSネット独自
	⑤ CS 国産鶏を使ったチキンナゲット 2袋組	450g×2	CSネット独自
	⑥ CS 肉しゅうまい	700g(50個)	CSネット独自
	⑦ CS 大山ヨーグルト	80g×6	CSネット独自 とっとり育ち

コープCSネットは、中国5県の地産地消にも取り組んでいます。

とっとり育ち  鳥取県内の産物を原料にした加工品で、主原料*が鳥取県内の産品である。	しまね発  島根県内の産物を原料にした加工品で、主原料*が島根県内の産品である。	おかやま育ち  主要原材料に岡山県産の農畜産物を使い、おかやまコープおよびコープCSネットが開発した商品と岡山県内商品。	旨いぞひろしま  広島県内の産物を原料にした製品 (1・2次加工で原料構成比50%以上)	大好きやまぐち  主原料・副原料いずれかに山口県産の農畜産物を使用し、その原料構成比が上位1位または2位を占める。
--	--	--	---	---

*とっとり育ち・しまね発の主原料(コープCSネット内規)・・・主原料とは、その使用量が第1位、第2位のもの

2013年7月～10月に新発売! コープCSネット開発商品

今回は、2商品の新発売がありました。



7月2回

CS フライパンでさば胡麻みりん干し

規格:240g(2枚)
通常価格(税込):398円

- 主原料には、脂のりの良いノルウェー産サバを使用しています。
- 還元水あめ(還元澱粉糖化物)、醤油、本みりん、昆布エキスを加え味をまろやかにした調味液に、一晩じっくり漬けこみました。
- 表面だけ軽く冷風乾燥させることにより旨味を凝縮。焼き上がり後の風味を高めるため、炒り胡麻を振りまきました。
- 美味しさを楽しんでいただけるようカマ・ハラスは切り取らずに残しています。そのことにより、除去する作業コストも抑えました。
- 1枚ずつご使用いただけるようにバラ凍結にしております。
- フライパンで手軽に調理できます。



10月3回

CS 広島県産レモンが香る塩焼ビーフン

規格:180g×2
通常価格(税込):498円

- 広島県産に限定したレモンの果汁と果皮を風味良く添加しています。(広島県産レモン果汁:1.29%、レモン果皮:0.13%)
- 国産の鶏肉・緑豆もやし・キャベツ・たまねぎ・にんじん・ピーマンを使用。
- 塩は瀬戸内の海水から作られた「瀬戸内備前のにがり塩」を使用。

コープCSネット トピックス

商品活動学習会(セミナー)報告

会員生協組合員の「知りたい」「学びたい」という要望に応えることを第一の目的として、コープCSネットでは、2009年度より様々な商品学習会を開催してきました。2013年度は、51社のメーカー・取引先、コープCSネットの商品担当バイヤーなどの協力を得て、中国地区5会員生協の各地でセミナーを開催しています。9月30日までに、42のセミナーが開催され、参加された組合員さんからは、好評を得ています。詳しいセミナーの様子は、コープCSネット公式ホームページ <http://www.csnet.coop> で公開しています。

写真は、7月9日におかやまコープで開催された株式会社ユニベイクジャパン様による冷凍パンの商品セミナーの様子。今回は、メーカーからの商品説明の後、学習した商品を使って、調理・試食を行いました。



想いを届けよう東日本へ

コープCSネットでは、被災された生協とメーカー・生産者にお届けする「復興支援金」として、2013年4月1回から2014年1月5回までの対象商品の供給代金の一部を積み立てています。

積立総額は、2013年9月末時点で、**10,723,105円**となっています。
(積立ては企画回で集計しています)



HelloCoop、CIEL、eats、CO-PAL、りらいあんす
中国地区5生協の食品案内チラシで企画する
コープCSネット開発商品

1点につき1円の支援金積立
2013年4月1回～9月4回

7,058,343円

キャロット企画全品
中国地区四国地区9生協の非食品案内チラシ

1点につき1円の支援金積立
2013年4月1回～9月4回

3,664,762円

2013年度の支援金の用途については、会員生協(中国四国9生協)の理事会にて決定する予定です。

(株)ハートコープおのみちが特例子会社に!

コープCSネットでは、尾道流通団地内に2013年7月よりコープCSネットエコセンター(以下エコセンターと表記)を開設しました。エコセンターでは、中国地区5会員生協58事業所で組合員から回収をされたリサイクル品を集約し、圧縮加工を行い資源リサイクル業者に売却する事業を行っています。エコセンターでの作業は、コープCSネットの子会社(株式会社ハートコープおのみち)が、障がい者を雇用し運営しています。株式会社ハートコープおのみちは、2013年8月末に特例子会社として登録されました。

※特例子会社とは…企業が障がい者の雇用を促進する目的でつくる子会社のこと。障がい者雇用促進法は従業員50名以上の民間企業に対して、全従業員の2.0%以上は障がい者を雇うよう義務づけていますが、特例として、事業者が障がい者のために特別に配慮した子会社を設立し、一定の要件を満たした上で厚生労働大臣の認可を受ければ、その子会社の障がい者雇用数を親会社および企業グループ全体の雇用分として合算することが認められています。



組合員理事懇談会 報告

◆日時:2013年9月20日(金)

◆会場:おかやまコープ オルガ本部

2013年9月20日(金)に、2013年度第1回目となる組合員理事懇談会が開催されました。今回は、以下の内容について懇談が行われました。

- ① 2013年度上期まとめと2013年度下期方針について各部局より報告をした後、交流を行ないました。
- ② 東日本大震災復興支援金の使途について各会員生協組合員理事より取組み報告が行われ、その後交流を行ないました。
- ③ 組合員の声改善委員会の取組み報告を事務局から行ないました。
次回の組合員理事懇談会は、2014年3月を予定しています。



生協しまね コープフェスティバル 2013

生協しまね

●2013年9月15日(日) 10:00～15:00 ●会場:くにびきメッセ(松江市)

生協しまねの祭り「コープフェスティバル」は、島根県の地域の皆さん、組合員と生産者・メーカーの交流の場として毎年開催し、秋のイベントとして地域に定着しています。今年のテーマは、「たくさんの“あい”と“あい”で縁結び」。生産者、メーカー、地域で活動している団体など77団体が参加し、試食や物品販売、学習や体験、ステージ企画などの催しを行いました。当日は、約10,000人の来場者で賑わい、生協しまねの取組みや商品について知っていただくことができました。



当日は10,000人の来場がありました。



ステージイベントでは、島根県の伝統芸能「石見神楽」が舞われました。



生協しまね職員有志による「コープレんジャー」のステージ。イベント終了後には、お子さんとの記念撮影会もありました。

おかやまコープ ハッピーフードパーク 2013

おかやまコープ

●2013年9月28日(土) 10:00～14:30 ●会場:コンベックス岡山(岡山市)

ハッピーフードパークは、おかやまコープの「産直」「地産地消」などの商品活動の取組みを紹介し、生産者やメーカーと交流を楽しめる場です。今年のテーマは、「来て見て体感!おいしさ実感!こだわり共感」で、当日は、19,000人ももの来場がありました。コープ商品のメーカーや産直商品の生産者など193ブース、125社のお取引様にご参加いただき、多くの組合員さんに、おかやまコープの商品や活動について知っていただくことができました。

ステージイベントでは、庄内小学校(岡山市)の金管バンド「スター☆キッズ」、山陽女子中学校・高等学校ダンス部、うらじゃ連「笑輝」の皆さんの素晴らしいパフォーマンスや、大抽選会などのイベントがあり、会場を盛り上げました。また、震災を機に岡山県に移住して事業やお店を始めておられる方々をお招きして、ブースを設けていただきました。



当日は大いに賑わいました。



組合員さんとメーカーの方が協力して出店



被災地支援コーナー

